

3. いずれの試布も糊付けにより白度はやや上昇し、防汚性も原布より向上する。しかし、洗浄性とは平行関係がみられず、ビニロンはいずれの糊付布も原布の洗浄性より悪い。テトロンの D₁D₂D₃ 糊付布は原布より著しく洗浄性が向上する。糊剤間では D₁ 処理布がもっともよく、D₄D₅ 処理布は洗浄性の向上は期待できない。この傾向はナイロン、アセテートに著しく、カシミロンにもややみとめられた。

B—27 合成繊維織物の洗浄に関する研究 —糊付け効果について—

長崎大教育 石崎 ダイ

1. 合繊織物の洗浄後の糊付け効果は糊剤の種類、添加物、糊付温度等により防汚性、洗浄性の向上、および糊付布の物性の変化は異なるものと考えられる。今回は各種合繊布を5種の糊剤で処理した場合の防汚性、洗浄性の変化を原布と比較検討した結果を報告する。

2. 試布は F₁ テトロン、F₂ カシミロン、F₃ ナイロン、F₄ ビニロン、F₅ アセテート、糊剤は D₁ CMC、D₂ 澱粉、D₃ デキストリン、D₄ PVA、D₅ アクリル系糊、濃度 0.05、0.1、0.3、0.5%、試布は糊付前に精練した。精練布 (12×15cm) を木枠に取付け各糊液を常温で F₂、F₄ には 2cc 他試布には 1cc ピペットで注加拡散させ自然乾燥し糊付布とした。汚染性は回転汚染試験機により乾式汚染を行ない、白度の低下を測定し原布と比較して汚染性をみた。汚染布は1週間後攪拌型洗浄力試験機により、洗剤 0.2%、40±1°C 30分洗浄し、乾燥後常法に従って洗浄効率を出した。